

題名 大すきなひょうごのうみ

作者名 境 香陽(さかい こはる)

学校名 明石市立高丘西小学校

学年 一年

わたしは、ひょうごけんあかししにすんでいます。三月に、ほいくしよをそつえんして一ねん生になりました。

はる、わたしがほいくしよをそつえんするころ、おとうさんがきんじよのスーパーで、いかなごをかってきて、くぎにをつくってくれました。つくっているときから、いいにおいでした。おにぎりに入っていたり、おべんとうに入っていたりして、とてもおいしかったです。なつ、おとうさんと、あかしかいきょう大はしのちかくに、つりにいきました。アジやサバをいっぱいつりました。小さいサバはあまりおいしくないからにがしました。その日のよる、おとうさんがアジを天ぷらにしてくれました。とってもおいしかったけど、ほねが気になつたので、一こだけにしました。

あき、大くらかいがんで、おとうさんとつりをしました。なかなかつれなくて、となりでつりをしていたおじいさんが、アジをつるのを手つだってくれました。となりのとなりでつりをしていたおじいさんは、つれたハマチをくれました。その日のよる、おとうさんがアジの天ぷらと、ハマチのてりやきをつくってくれました。アジは、やっばりほねがきになって、一こたべました。てりやきは、おいしくて、四つくらいたべました。

ふゆ、きのさきにいきました。みんしゆくにとまって、やきガニやカニグラタンをたべました。カニは、もともとあんまりすきじゃなかったけど、この日のカニはおいしかったです。いま、このさく文をかいているときも、おとうさんがキッチンで、きょうふねでつってきたブリやハマチをさばいています。しゃぶしゃぶやおさしみにして、たべるのがたのしみです。

わたしは、はるなつあきふゆ・・・のそれぞれのきせつで、おいしいさかながとれるので、ひょうごけんのみが大すきです。これからずっと、大すきなうみで、つりやあそびをしたいです。